

令和4年度

管内概況書

上伊那地域振興局

令和4年度上伊那地域振興局 管内概況書 目次

管内の概況

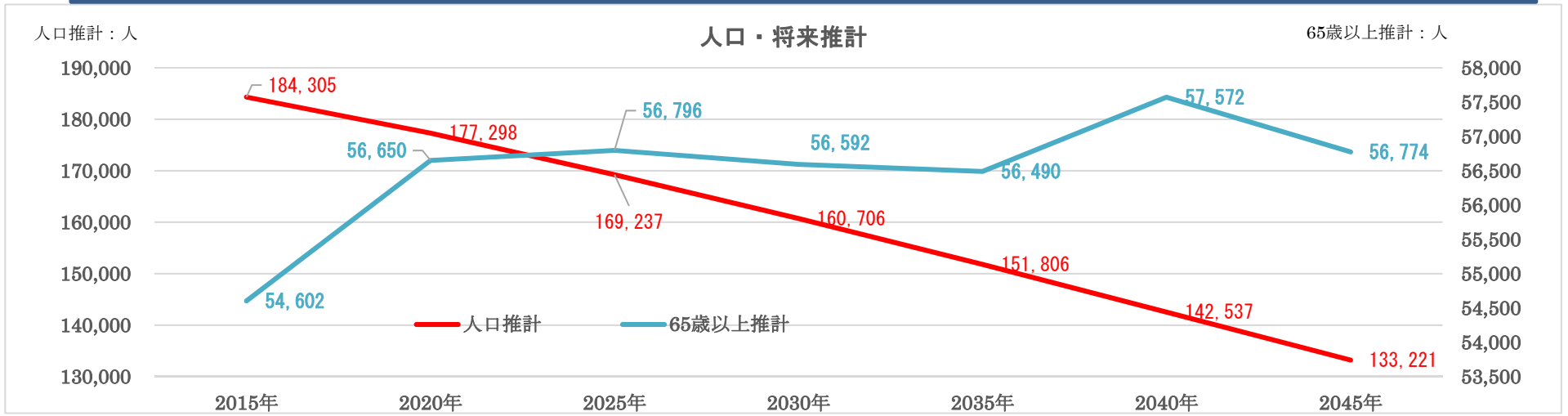
概況	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
統計データ		
1 人口	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 産業	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2

上伊那地域振興局各課の概況

総務管理課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
企画振興課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7
環境・廃棄物対策課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	9
農地整備課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	11
林務課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
商工観光課	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	15
農業農村支援センター	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	17



上伊那地域振興局管内概況

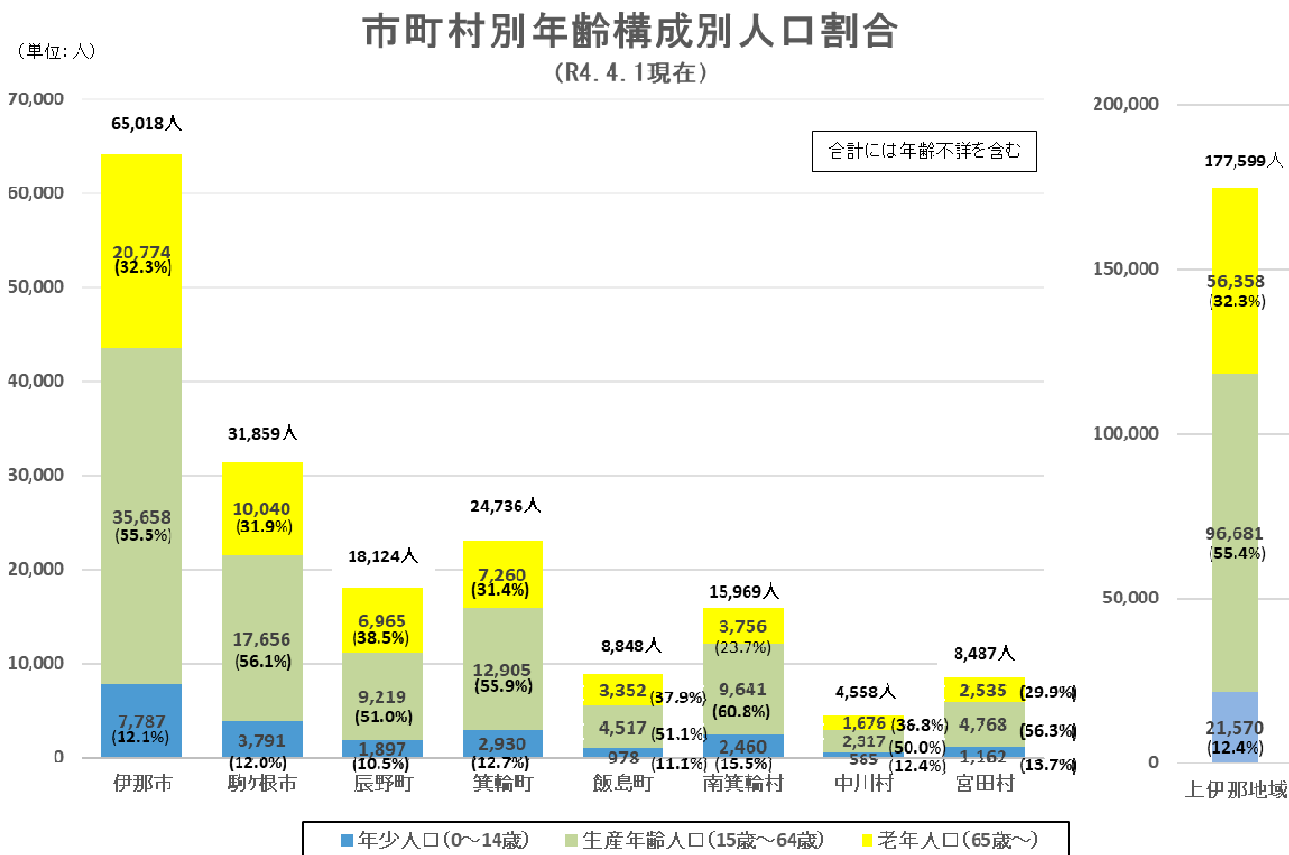


上伊那地域における「つながり人口」の拡大が必要



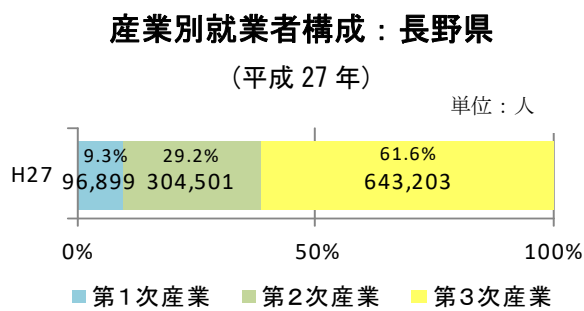
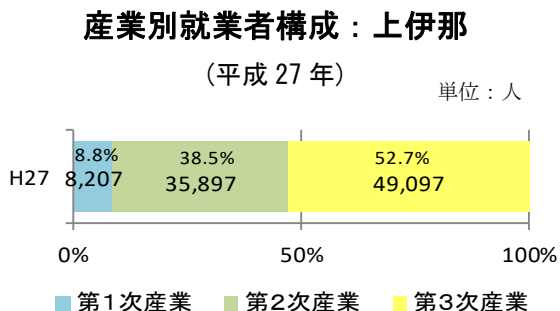
人口・将来推計は、2020年までは国勢調査・2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所 (H30年推計)

1 人 口



2 産 業

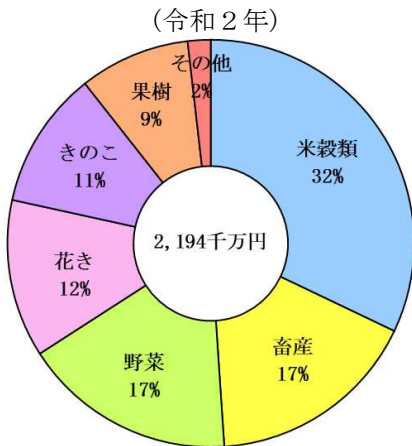
(1) 就業人口



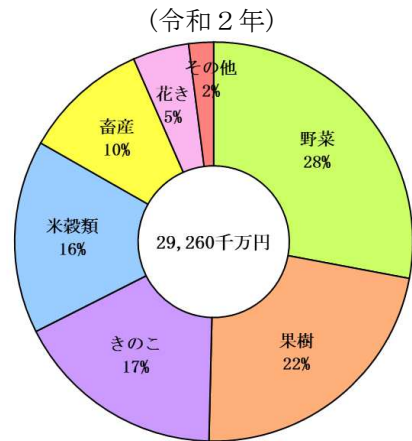
(出典：「国勢調査（都道府県・市区町村別統計表）」)

(2) 農業

農業産出額の状況：上伊那



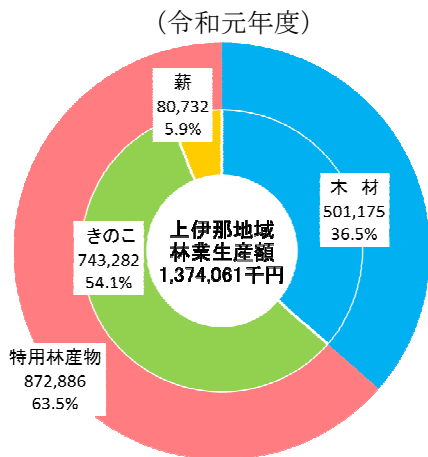
農業産出額の状況：長野県



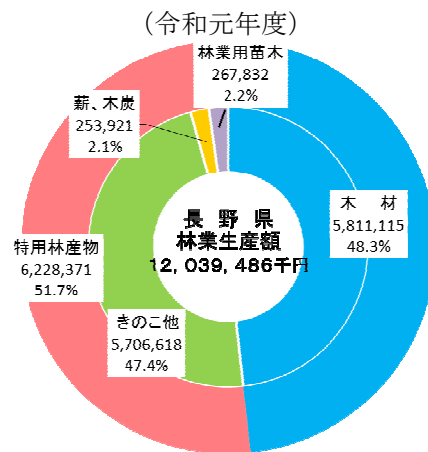
(出典：農政部調)

(3) 林業

品目別林業生産額：上伊那



品目別林業生産額：長野県

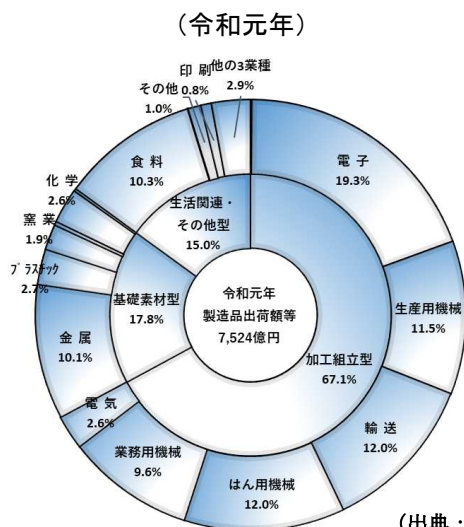


(出典：林務部調)

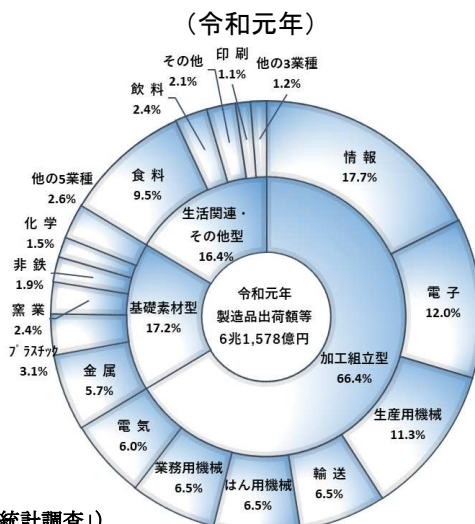
(※上伊那の林業用苗木の生産額は対象が個人1者のため統計数値を非公表とした)

(4) 工業

業種別製造品出荷額等：上伊那



業種別製造品出荷額等：長野県

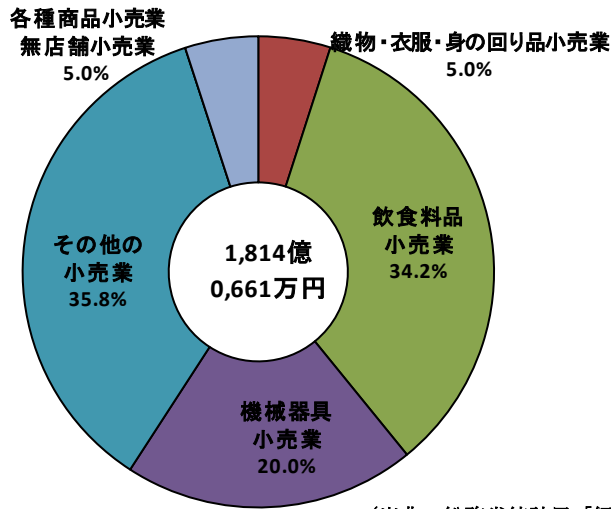


(出典：経済産業省「工業統計調査」)

(5) 商業

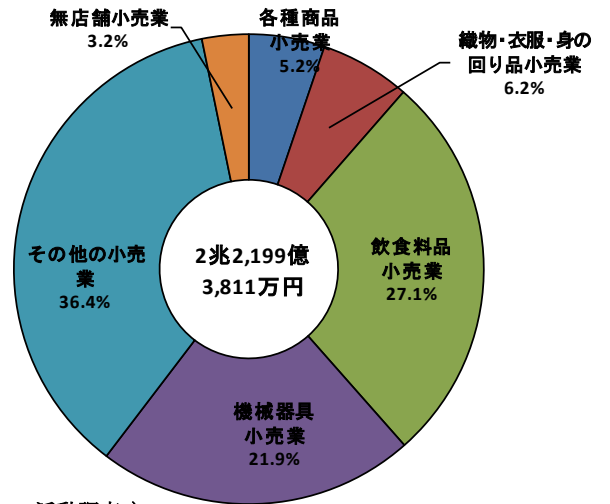
小売業年間商品販売額：上伊那

(平成 28 年)



小売業年間商品販売額：長野県

(平成 28 年)

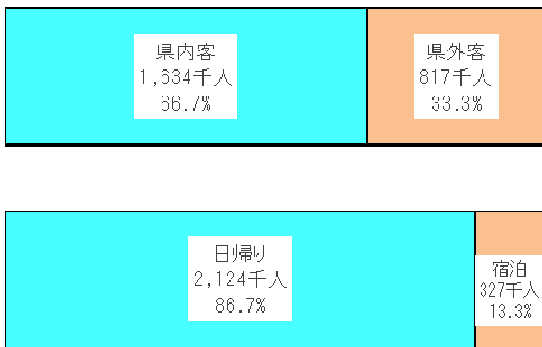


(出典：総務省統計局「経済センサス-活動調査」)

(6) 観光

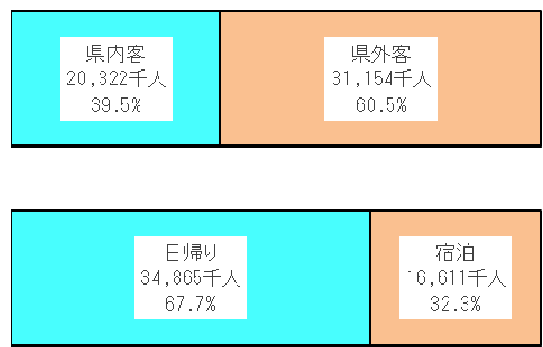
観光地利用者の状況：上伊那

(令和 2 年)



観光地利用者の状況：長野県

(令和 2 年)



(出典：観光部「観光地利用者統計調査」)

1 庁舎・職員宿舍の状況

令和4年4月1日現在

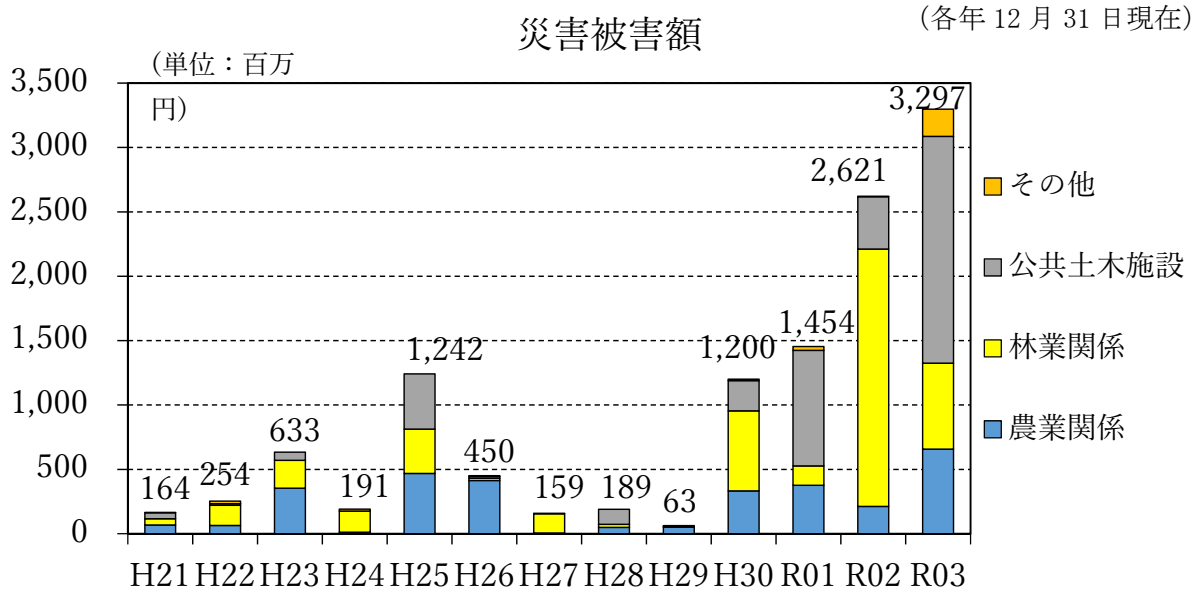


※職員宿舍入居率 67.0% (単身用97.2%、世帯用100%、单身寮37.9%)

2 災害発生状況

令和3年8月(8/12~19)の豪雨では、辰野町に災害救助法が適用され、上伊那管内で半壊2棟、一部損壊5棟、床下浸水55棟の住家被害があり、JR飯田線の橋脚が損傷するなど公共交通機関や公共土木施設を中心に約30億円の被害が発生しました。

近年では、梅雨前線による豪雨災害などにより年間被害額が136億円となった平成18年に次ぐ被害額でした。

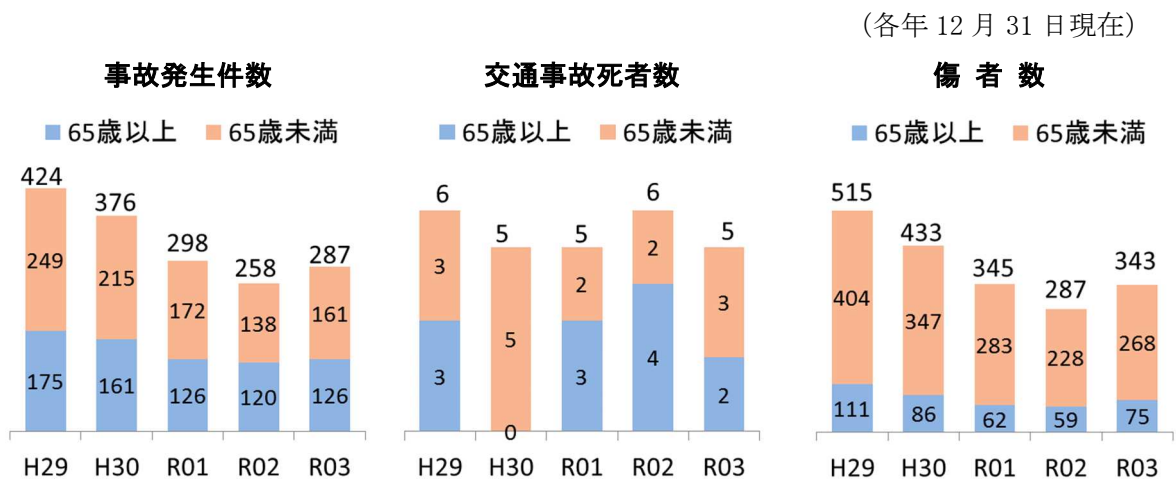


(出典：危機管理部「長野県の災害と気象」)

3 交通事故発生状況

令和3年の交通事故は、287件(前年比29件増)、死者数5人(前年比1件減)、傷者数343人(前年比56人増)でした。

県内で発生する死亡事故は、時間帯は夕暮れ時から夜間にかけて、状態は歩行中、年齢層は高齢者が多いという特徴があるため、季節に実施する交通安全運動では、早めのライト点灯や高齢歩行者に対して反射材の利用を呼びかけ、事故防止の徹底を図っています。



(出典：県民文化部「事故統計」)

1 上伊那地域計画（平成30年度～令和4年度）

めざす姿	リニアの時代へ 世界とつながり豊かな暮らしが営まれる伊那谷 (INA Valley)
地域重点政策	<ul style="list-style-type: none"> ■ “伊那谷らしく” 豊かで活力に満ちた暮らしづくり ■ 伊那谷の未来を担う人づくり ■ 二つのアルプスを活かした交流圏域づくり ■ リニア開業を見据えた伊那谷 (INA Valley) づくり

2 上伊那地域の横断的な課題（令和4年度）

横断的な課題	施策の柱
上伊那地域の未来を担うひとづくり	地域産業を支える人材の確保 地域に学び地域を支える人材の育成
暮らしたい、暮らし続けたい「しあわせのまち」づくり	つながり人口の拡大と移住定住の促進 子育て支援や教育環境の充実等による魅力ある暮らしの場の整備 デジタル技術等を活用した住民ニーズへの対応や地域課題の解決
リニア中央新幹線の開業を見据えた広域的な観光地域づくり	リニア中央新幹線へのアクセスと広域二次交通の確保 南信州、木曾地域と連携した広域観光の推進
伊那谷の豊かな地域資源を活用した脱炭素社会づくり	住民意識の醸成と省エネルギーの取組の推進 地域資源を活かした再生可能エネルギーの活用促進 CO2 吸収効果の拡大に向けた豊かな森林づくりの推進 地域におけるゼロカーボンの実現に向けた推進体制の整備

3 地域振興推進費（令和3年度）

事業名	事業概要
高速バス利用促進実証実験事業	みずずハイウェイバス需要喚起のため、コロナ対策車両の PR 県立美術館と長野市内周遊バス利用を組んだ乗車券を販売
中央アルプス国立公園指定記念環境スタディツアー事業	伊那谷の豊かな自然環境を保護し、次世代へ引き継ぐ意識を高めるため、夏休みに親子を対象としたスタディツアーを開催
3地域（上伊那・南信州・木曾）の広域観光推進事業	上伊那・南信州・木曾地域の DMO 等が連携して、ブランド構築やファミトリップを実施
地域課題を「関わりしろ」としたつながり人口創出実証実験事業	都市住民が地域との交流・協働体験を通じて、地域課題に継続的に取り組むことで、つながり人口創出の手法を検証
養育里親制度等を活用した地域の子育て支援体制づくり推進事業	誰もが安心して利用できる子育て支援体制を目指し、地域の子育て支援の現状の課題把握、養育里親等制度の広報を実施
若者のUターン就職促進事業	Uターン志向を高めるため、SNSによる地元就職情報配信サービスの登録促進、保護者を対象とした地元企業との懇談会開催
INA Valley 産業支援ネットワーク活動推進事業	日常生活動作支援 (ADL) 産業の集積を促進するため、定期的な情報交換会や勉強会等を開催
南信工科短大ブランド戦略策定・PR 事業	ものづくり人材の裾野拡大のため、女子中高生対象の理系座談会・学生対象の地元企業のグローバル展開を学ぶ講座を開催
上伊那地区企業人材確保支援事業	上伊那地区企業説明会への参加促進のため、上伊那地域全域配布のフリーペーパーに就職特集記事や企業説明会広告を掲載

4 地域発 元気づくり支援金

(1) 事業区分別交付実績 (令和3年度)

(単位：千円)

事業区分		件数	金額	内容例
1	地域協働の推進	0	0	
2	保健、医療、福祉の充実	3	4,460	スマホアプリを活用したウォーキングイベント
3	教育、文化の振興	5	7,110	高校生を対象としたキャリア教育コーディネート
4	安全・安心な地域づくり	0	0	
5	環境保全、景観形成	6	10,027	地域の文化財に関する学習や周辺環境の整備
6	産業振興、雇用拡大	16	29,439	
	(1) 特色ある観光地づくり	9	16,580	自転車観光推進に向けたワークショップ
	(2) 農業の振興と農山村づくり	3	2,393	地元農家の課題解決や魅力発信による担い手の確保
	(3) 森林づくりと林業の振興	1	2,784	人と森とのつながり方を提案するイベント
	(4) 商業の振興	0	0	
	(5) その他	3	7,682	専門アドバイザーによる企業等の課題の掘り起こし・対策立案支援
7	市町村合併に伴う地域の連携	0	0	
8	その他地域の元気を生み出す地域づくり	1	1,703	UJI ターンを促進するための学生・保護者と企業とのマッチング
合計		31	52,739	
《参考》 令和元年度交付実績		63	69,260	
令和2年度 〃		32	39,584	

(2) 重点テーマ交付実績 (令和3年度)

(単位：千円)

重点テーマ		件数	金額
県全域	地域防災力の向上	0	0
	2050 ゼロカーボンに向けた取組の推進	3	5,481
上伊那	若者のUIJターン就業の促進	4	5,926
	リニア中央新幹線の開業を見据えた交流、移住、定住の促進	5	9,733
	上伊那の特色ある産業・文化を担う人づくりの推進	4	9,076
合計		16	30,216

(3) 優良事例 (令和2年度)

賞名	事業名	実施団体
知事表彰	入野谷そば復活夢プロジェクト 収量拡大及びPR事業	入野谷そば振興会
地域振興局長表彰	高等学校のキャリア教育コーディネート事業	郷土愛プロジェクト
	AI・IoT展開のための人材育成事業	公益財団法人 上伊那産業振興会

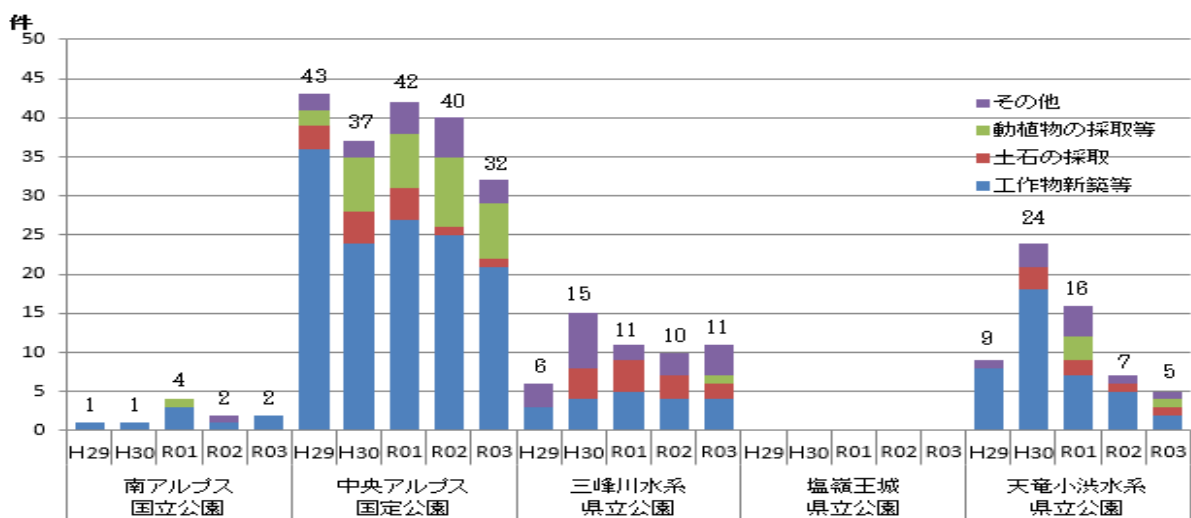
1 自然保護

上伊那は南アルプス、中央アルプスの二つのアルプスと河岸段丘からなる雄大な自然を有しています。これらの自然環境を保護し活用するため、自然公園法、長野県立自然公園条例、長野県自然環境保全条例等により、一定の行為が規制されています。

(1) 自然公園法、県立自然公園条例に基づく許可及び協議件数

過去5年間の許可等の状況は以下のとおりです。工作物新築等の主なものは、山小屋や登山道整備、電気事業者の施設改築などに係るものです。

○自然公園別許可件数の推移（局長権限に係るもの）



（出典：上伊那地域振興局調）

(2) 登山道等整備に係る補助実績（令和3年度）

「中央アルプス国立公園重点整備支援事業補助金」を活用し、避難小屋整備や登山道の改修等を行いました。（2団体4箇所）

山 域	箇 所	整備内容	実施主体	補助率
中央アルプス国立公園	駒ヶ岳縦走線	登山道整備	駒ヶ根市	72.5/100
〃	剣ヶ峰線	道標整備	〃	〃
〃	檜尾岳避難小屋、野営場	避難小屋等整備	〃	〃
〃	濃ヶ池線	登山道整備	宮田村	〃

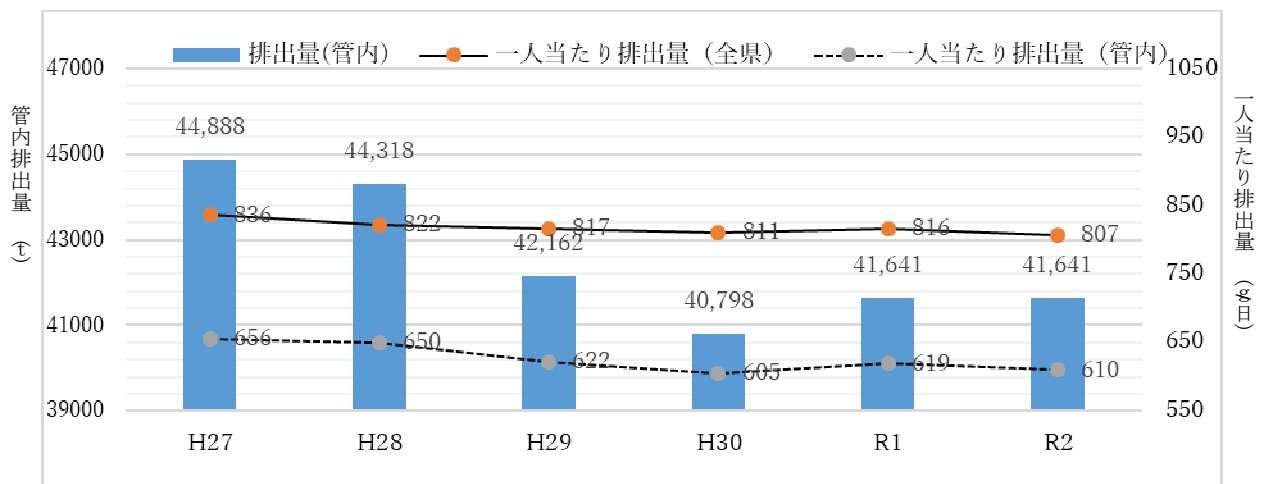
（出典：上伊那地域振興局調）

2 廃棄物対策

(1) 一般廃棄物対策

管内市町村における一般廃棄物の排出量は以下のとおりです。一般廃棄物の処理は上伊那広域連合に一本化して実施しており、ごみ処理広域化計画及びごみ処理基本計画に基づき、可能な限りの排出抑制・再資源化・減量化を図っています。

○一般廃棄物排出量の推移



(出典：上伊那地域振興局調)

(2) 産業廃棄物対策

廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく事業者数は、以下のとおりです。産業廃棄物処理業者、処理施設等へ立入を行い必要に応じ指導を行っています。

○産業廃棄物処理業者数

(令和3年度末)

区分	県全体	管内					計
		上伊那	南信州	木曾	県外		
産業廃棄物処理業	収集運搬業	3,532	234	233	49	281	797
	処分業	265	41	29	8	—	78
特別管理産業廃棄物処理業	収集運搬業	395	12	10	1	56	79
	処分業	8	1	2	0	—	3
合計	4,200	288	274	58	337	957	

※県全体は長野市を除く

(出典：上伊那地域振興局調)

○立入検査件数

(令和3年度)

区分		管内			
		上伊那	南信州	木曾	計
立入検査	事業者	1,170	521	263	1,954
	施設	106	45	13	164
指示書交付	事業者	15	12	5	32
	施設	3	1	0	4

(出典：上伊那地域振興局調)

1 上伊那の農業農村整備状況

➤ 管内概況

上伊那地域の農地は、天竜川及び三峰川の沿岸に広がる水田地帯と、西部に広がる畑地帯に大別されます。

管内の水田整備率は 94.1% (県 85.9%)、畑地整備率は 61.2% (県 35.3%)、畑地かんがい施設の整備率は 57.2% (県 28.0%) に達し、県全体 (平均) の整備率を大きく上回っています。

整備状況一覧表

区分	面積 (ha)	整備済 (ha)	整備率 (%)
水田	8,111	7,630	94.1
畑	4,482	2,743	61.2
計	12,593	10,373	82.4

<水田地帯>

昭和初期より県営かんがい排水事業等で農業水利施設の整備が進められ、安定した農業用水が確保され、昭和 40 年代からは、県営ほ場整備事業等により農業生産性の向上と農業構造の改善が進みました。

※ 担い手に農地を集積・集約する圃場整備を行い農作業の効率化が図られた水田
経営体育成基盤整備事業
宮の前地区 (駒ヶ根市)



<畑地帯>

昭和 40 年代から 50 年代にかけて、国営かんがい排水事業及び県営畑地帯総合土地改良事業により整備され、野菜や果樹を中心とした農業経営が展開されています。

※ 施設整備により収量や品質が安定した果樹
県営畑地帯総合土地改良事業
伊那西部地区 (伊那市)



2 長野県農業農村整備計画における 3 つの施策体系に沿った事業展開

➤ 上伊那管内全体の事業実施状況

令和 4 年度 当初 事業費 16 億 4,631 万円 (令和 3 年度比 68.2%)

令和 3 年度 2 月補正 + 4 年度 事業費 = 16 億 6,831 万円

施策体系① 稼ぐ農業を支える基盤整備の推進

生産基盤

【経営体育成基盤整備、かんがい排水 等】

- 農業用水を安定供給するための農業水利施設の長寿命化
 - 長寿命化計画策定の推進
 - 長寿命化計画に基づく対策の推進
- 効率的な生産を支える農地の整備
 - 生産性の向上を目指した農地の整備
 - 農業用水管理の省力化の推進

※ 春富 6 号地区 用水路 (伊那市)



➤ 上伊那管内の実施状況

県 営 : かんがい排水事業 春富 6 号地区 他 2 地区 66,100 千円

施策体系② 持続的な農業生産活動を支える基盤づくり

農地防災

【農村地域防災減災対策、地すべり対策 等】

■農村の暮らしを守る防災減災対策

- ため池の安全対策の推進
- 地すべり防止施設の長寿命化の推進



※黒川地区
鷹岩水路トンネル（伊那市）



農村整備

【農道整備、多面的機能支払 等】

■持続的な営農を支える農地等の整備

- 地域の特徴を活かす生産基盤と生活環境の整備

■多様な主体の参画により進める多面的機能の維持

- 農業生産活動の維持と地域資源の保全に向けた活動の支援
- 農村を支える多様な人材確保への支援

※農道 飯島地区（飯島町）



➤ 上伊那管内の実施状況

県 営：農道整備事業 飯島地区 他 23 地区 604,712 千円

団体営：長寿命化防災減災事業 西天竜 2 期地区 他 33 地区 975,494 千円

施策体系③ 地域の強みを活かした農村景観や地域資源の活用

■信州の農業資産が有する魅力を観光や学びに活用する取組の推進

- 地域学習への活用による郷土愛の醸成
- 観光へ活用することによる多面的機能への理解の促進

※伊那西部第 1 揚水機場の説明

➤ 上伊那管内の実施状況

農地整備課では、上伊那管内の農業水利施設の歴史や役割、農業の大切さを学習する「農業用水探検隊」を平成 19 年度から開催しており、令和元年度までの 13 年間で、4 市町村（伊那市、辰野町、箕輪町、南箕輪村）の 9 小学校（延べ 2,995 人）と伊那北高等学校（36 人）の生徒が参加しました



■農業用水を活用した小水力発電の導入促進

- 農業用水や水利施設を活用した小水力発電施設の導入促進

※ 春富 6 号地区
春富水力発電所（伊那市）

➤ 上伊那管内の実施状況

小水力発電施設の建設：

美和発電所 12 k W（平成 27 年稼働）

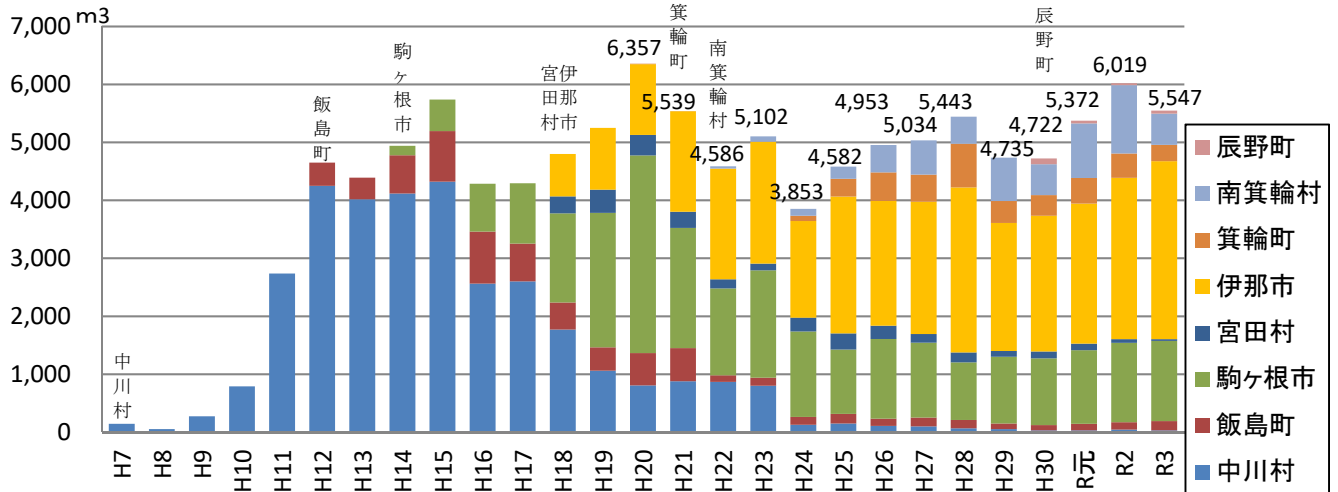
春富水力発電所 197 k W（平成 29 年稼働）



1 災害に強い森林づくり

◎松くい虫被害対策

被害量の推移



防除対策の実績 (R 3年度)

区 分		伊那市	駒ヶ根市	辰野町	箕輪町	飯島町	南箕輪村	中川村	宮田村	計	
被害量 (m ³)		3,069	1,383	51	281	160	541	30	32	5,547	
補助事業	駆除量 (m ³)	785	934		278	45	419	1	5	2,462	
	薬剤散布 (ha)	有人ヘリ		38.0							38.0
		無人ヘリ		18.4							18.4
		地上散布					2.0				2.0
樹種転換 (ha)		16.2	1.0		1.7		3.7		2.5	25.1	
税推進支援金等(伐倒駆除) (m ³)		77								77	
森林環境譲与税活用事業(伐倒駆除) (m ³)				39						39	
市町村単独等(伐倒駆除) (m ³)		31	55	12	72	0	31	10	3	214	
事業費 (千円)		145,020	40,861	1,615	33,940	1,484	39,404	900	16,830	280,054	

注：被害量は令和4年3月末現在（駆除量は令和3年度以前の被害木も含む。）

資料：上伊那地域振興局調

◎治山事業の実施状況

(単位：箇所、千円)

区 分	R 2年度実績		R 3年度実績		備 考
	箇所数	事業費	箇所数	事業費	
山地治山	(6) 10	(178,475) 320,226	(10) 14	(226,091) 320,814	復旧治山、緊急総合治山、緊急予防治山、緊急機能強化、防災林造成、予防治山
水源地域整備	(5) 6	(161,976) 168,213	(2) 3	(54,010) 68,390	奥地保安林、保安林改良、保育、水源森林再生
地すべり	-	-	-	-	
機能強化	(-) 3	(-) 30,617	(1) 3	(13,766) 46,006	
災害関連緊急治山	(-) 3	(-) 21,588	(7) 8	(505,593) 509,421	
県単治山	(7) 24	(21,973) 82,576	(4) 13	(20,900) 51,764	
計	(18) 46	(362,424) 623,220	(18) 46	(820,360) 996,395	治山施設 谷止工



資料：上伊那地域振興局調

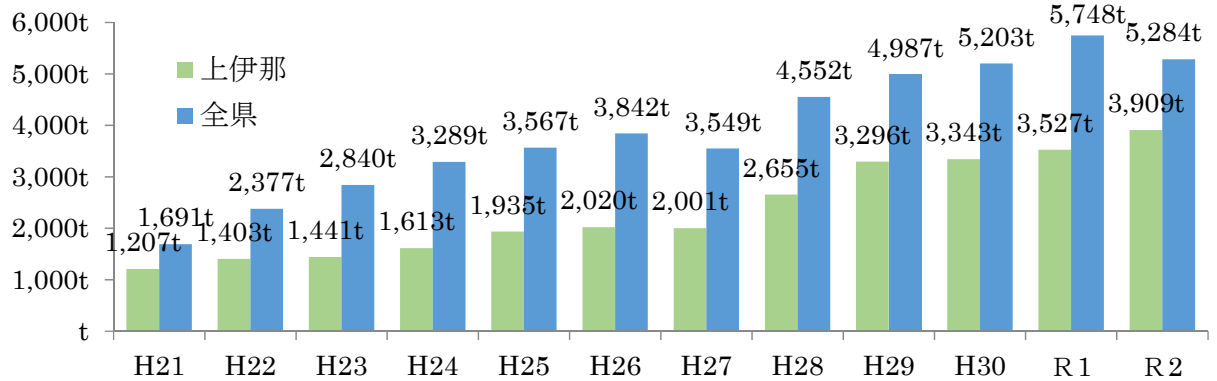
注：令和2年度実績欄の()は、令和元年度の繰越件数・繰越金額で内数
令和3年度欄の()は、令和2年度の繰越件数・繰越金額で内数

2 地域の木材利用の促進

◎木質バイオマスエネルギーの利用促進

ペレット生産量の推移

資料：林務部及び上伊那地域振興局調



ペレットストーブ、ボイラー管内導入状況

(単位：台)

区分		市町村		県		国	個人・会社	森林組合	計
		役場等	保・幼・小・中	合庁等	高校				
ストーブ	補助分	34	(22) 243	8	12		(11) 266	(8) 36	(41) 599
	その他	9	9	1		4	(6) 86	17	(6) 126
	計	43	(22) 252	9	12	4	(17) 348	(8) 53	(47) 725
ボイラー	補助分	2	(1) 12	1			1	1	(1) 17
	その他		4				6		10
	計	2	(1) 16	1			7	1	(1) 27

資料：上伊那森林組合調 (R3. 3. 31 現在) () は R2 導入分、内数



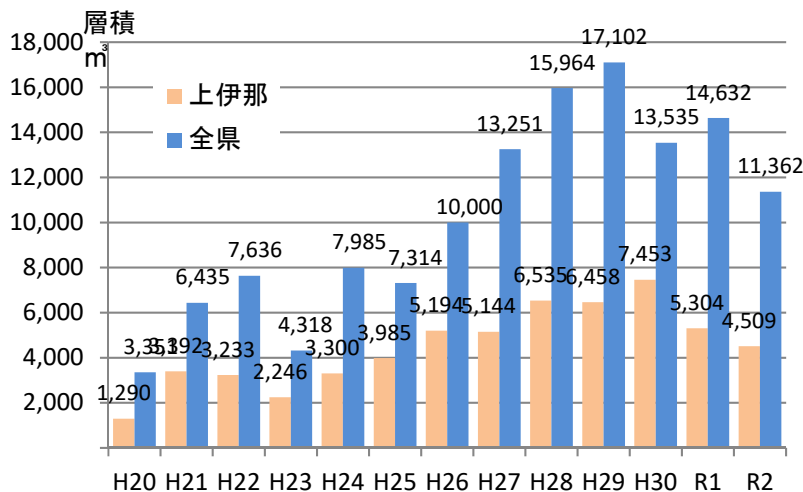
ペレットボイラー



ペレット工場

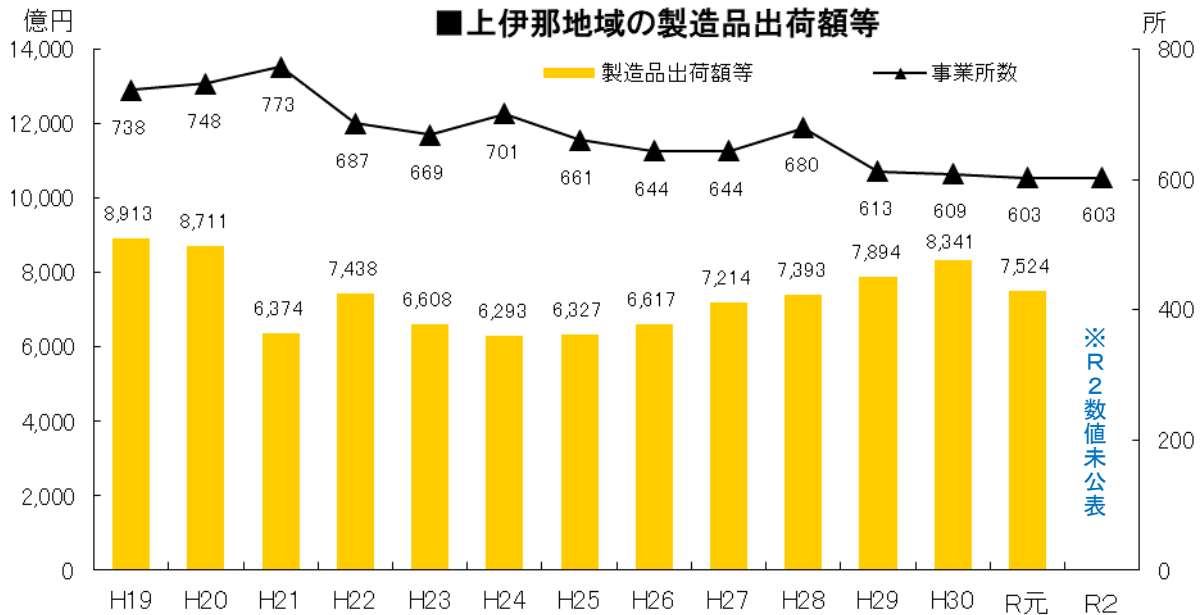
薪生産量の推移

資料：林務部及び上伊那地域振興局調



1 製造品出荷額等の状況

管内製造品出荷額等は、世界経済悪化の影響を受け平成20年から21年にかけて大きく減少しました。その後、平成24年から微増傾向でしたが、米中貿易摩擦の影響により、中国への輸出が減ったため、令和元年には減少に転じています。



令和元年の製造品出荷額等

(事業所数・従業者数はR2.6.1時点、製造品出荷額等はR元年1月～12月)

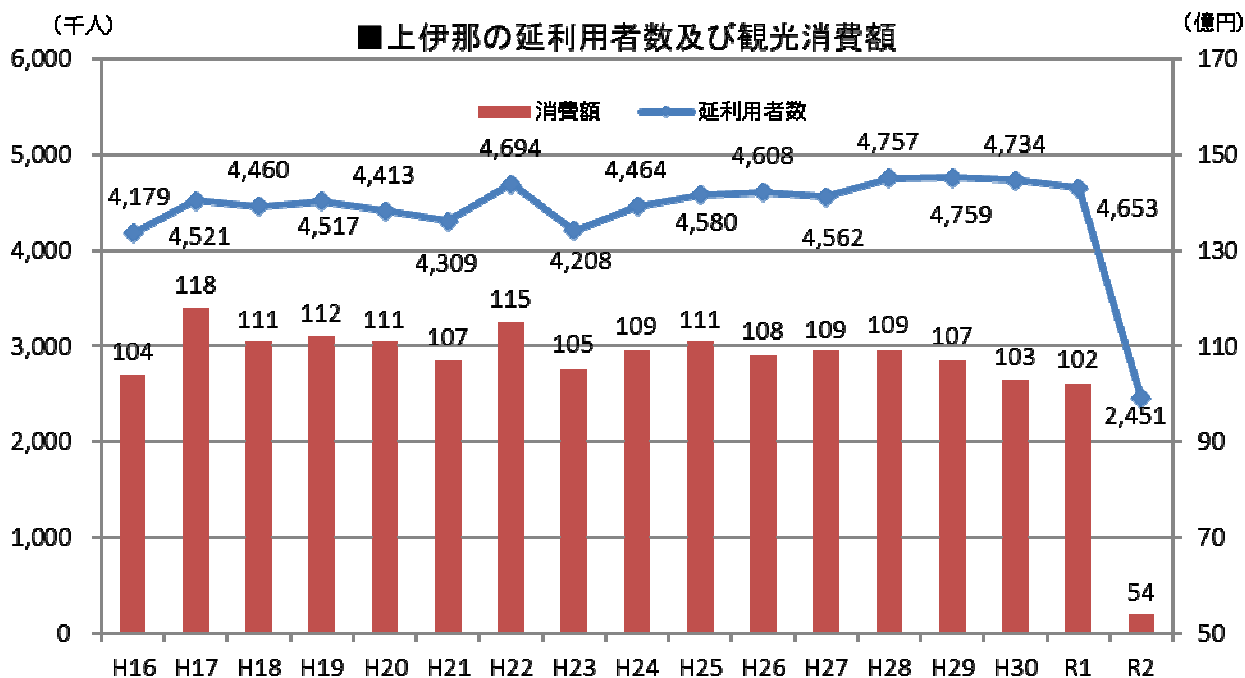
	事業所数		従業者数		製造品出荷額等	
	所	前年比 %	人	前年比 %	百万円	前年比 %
伊那市	136	99.3	6,373	102.8	185,817	97.1
駒ヶ根市	105	101.0	5,124	97.0	157,136	91.5
上伊那郡	362	99.7	15,663	98.1	409,442	87.1
辰野町	83	98.8	4,634	97.3	114,738	98.7
箕輪町	134	100.8	4,630	98.4	137,143	88.0
飯島町	39	102.6	1,934	104.8	50,793	100.3
南箕輪村	48	98.0	1,886	94.7	52,385	58.0
中川村	12	92.3	241	80.6	4,001	99.2
宮田村	46	100.0	2,338	98.9	50,382	93.4
郡市計	603	100.0	27,160	98.9	752,395	90.1
県計	4,767	98.8	202,222	98.9	6,157,847	95.2
対県比	12.6		13.4		12.2	

(出典：経済産業省「工業統計調査」)

2 観光地の利用者数及び観光消費額

令和2年観光地利用者統計調査によると、管内利用者数は245万人、観光消費額は54億円となっており、令和元年と比べると、利用者数、観光消費額ともに新型コロナウイルス感染症拡大の影響から大幅な減少となっています。

来訪した観光客は県外客の割合が33.3%（長野県60.5%）、宿泊客の割合は13.3%（同32.3%）となっており、ともに県下10圏域で最も低く、身近な日帰り型の観光形態となっています。









○令和2年度 主な観光地の利用者延数・観光消費額（上位10地点）

観光地名	延利用者数 (百人)						観光消費額 (千円)		
	総数	県内・県外別		日帰り・宿泊別		前年比			
		前年比	県内	県外	日帰り			宿泊	
上伊那管内総数	2,451	52.7%	1,634	817	2,124	327	5,429	53.2%	
伊那西部高原	伊那市	411	70.1%	301	110	395	16	749	76.6%
大芝高原	南箕輪村	299	50.2%	293	6	289	10	197	42.3%
駒ヶ根高原	駒ヶ根市	262	54.0%	78	184	85	177	1,710	59.0%
光前寺	駒ヶ根市	185	53.4%	55	130	185	0	95	53.4%
ながた自然公園	箕輪町	173	58.7%	153	20	169	4	117	37.0%
羽広	伊那市	170	51.6%	126	44	168	2	363	52.7%
道の駅田切の里	飯島町	128	100.2%	90	38	128	0	200	108.2%
道の駅花の里いじま	飯島町	117	58.3%	82	35	117	0	154	65.9%
荒神山公園	辰野町	111	67.6%	98	13	92	19	224	65.7%
中央アルプス駒ヶ岳	駒ヶ根市	101	51.4%	30	71	95	6	628	54.2%

(出典：長野県「観光地利用者統計調査結果」)

1 農畜産物の生産状況

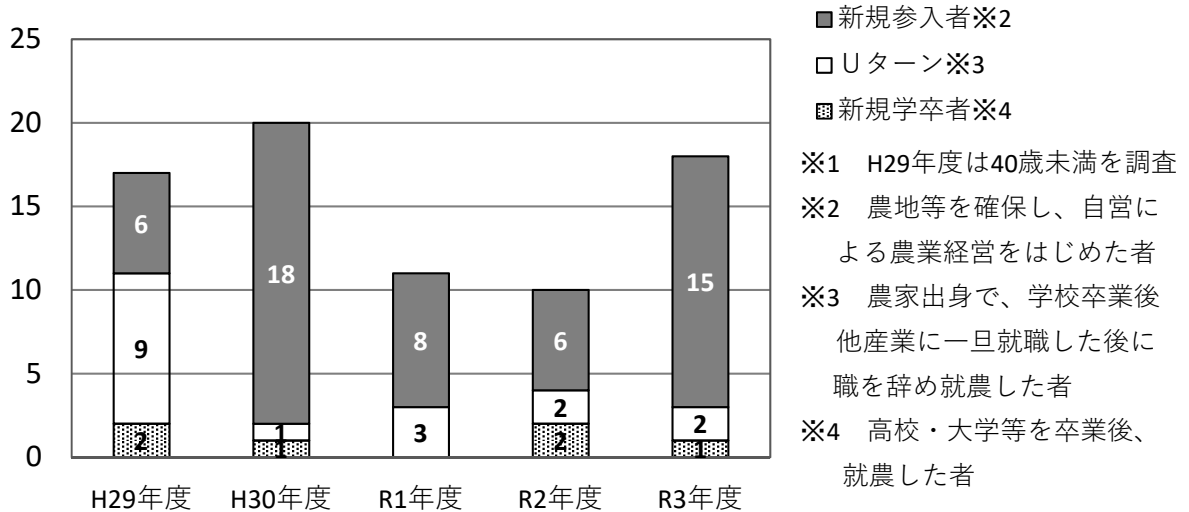
<p>米穀</p> 	<p>米は、コシヒカリを中心に栽培されており、上伊那地域を含む南信地方の水稲の単収は 601kg/10a (令和3年産)で、全国でもトップクラスとなっています(注)。(注：水稲うるち玄米)</p> <p>また、特別栽培米など環境にやさしい減化学肥料・減化学合成農薬栽培への取組が進められるとともに、JAでは、中食、外食向けに業務用米の契約栽培の拡大を図っています。</p> <p>麦、大豆、そばは、転作作物として営農組織による栽培が行われています。</p>
<p>野菜</p> 	<p>アスパラガス、白ねぎ、ブロッコリー、スイートコーンを中心に生産振興が図られています。また、きゅうり・いちごなどの施設栽培や、集落営農組織を中心にキャベツ・ジュース用トマトなどの業務用野菜の栽培にも取り組んでいます。</p>
<p>畜産</p> 	<p>本県の生乳生産量の20%を占める酪農を中心に、肉用牛・養鶏・SPF種豚などが生産されています。自給飼料生産にも積極的に取り組んでおり、飼料生産請負集団の組織化も進んでいます。また、耕畜連携により稲WCS(ホールクロップサイレージ)及び飼料用米が利用されています。</p>
<p>きのこ</p> 	<p>ぶなしめじを中心に、えのきたけ、なめこが大型法人により生産されています。生産性が高く、よりコストが抑えられる培地原料の配合検討や消費電力の小さいLED照明の導入を図るなど、低コストで生産性の高い経営の実現に向けた取り組みが行われています。</p>
<p>花き</p> 	<p>県内生産量の約7割を占めるアルストロメリアをはじめとして、カーネーション、トルコギキョウ、リンドウ、シンテッポウユリ等の切り花、シクラメン、洋ラン等の鉢花など多くの品目が生産されています。標高差を利用した同一産地内でのリレー出荷や、オリジナル品種の導入による栽培が行われています。</p>
<p>果樹</p> 	<p>りんごとなしを中心に、ぶどう、もも、かき、ブルーベリー、くり等が栽培されています。</p> <p>りんごは、晩生種の「ふじ」から中生種(「シナノスイート」、「シナノゴールド」等)、早生種(「夏明」、「シナノリップ」)への品種更新が進められるとともに、栽培作業の効率化に向けて高密度栽培への転換が行われています。</p> <p>なしは「南水」を中心に「幸水」「豊水」が栽培されています。</p> <p>近年、生食用ぶどうの栽培面積が増えており、「シャインマスカット」、「ナガノパープル」に加え、新たに県オリジナル品種「長果G11(クイーンルージュ®)」の栽培が始まっています。</p>

2 担い手の確保、育成状況

(1) 新規就農者の確保状況

上伊那地区新規就農促進連絡会議を核として市町村やJAとの連携を図りながら、国や県の支援制度などを活用し、新規就農者の確保を進めています。

社会情勢や景気の状態等により、相談者数及び新規就農者数は年度による変動が大きくなっています。

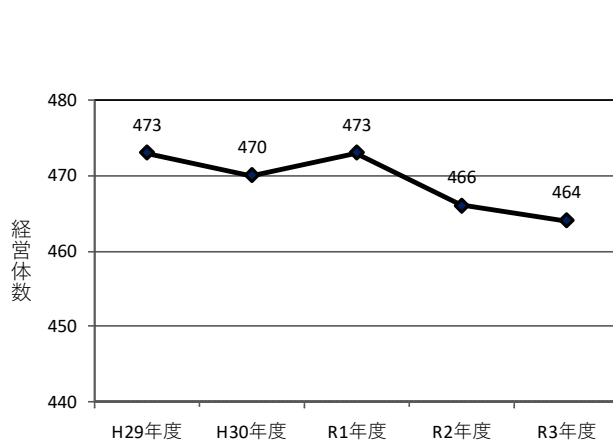


新規就農者（45歳未満※1）の推移 (単位：人)

資料：上伊那農業農村支援センター調べ

(2) 認定農業者数の状況

国では認定農業者に対する支援を重点的に進めてきており、認定農業者数は増加傾向にありましたが、農業者の高齢化等により平成 29 年度以降は横ばいから減少傾向となっています。

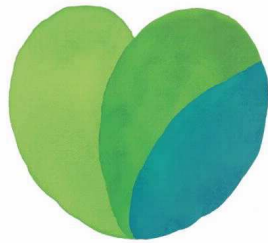


認定農業者数の推移

資料：上伊那農業農村支援センター調べ

(単位：経営体)

市町村名	令和3年度末	
	認定農業者数	うち法人
伊那市	172	47
駒ヶ根市	77	19
辰野町	18	5
箕輪町	35	4
飯島町	57	14
南箕輪村	37	7
中川村	44	10
宮田村	24	5
合計	464	111



しあわせ信州